



滋賀県放課後児童クラブ実態調査へのご協力をお願い

(施設用調査)

日頃から本県の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、放課後児童クラブの利用児童数や職場環境の状況、また放課後児童支援員等として働くことへの不安や職場等に望むことなど、幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な放課後児童クラブの質の向上の取組につなげることを目的として、放課後児童クラブ事業者の皆さんや放課後児童クラブにお勤めの方にアンケートを実施することといたしました。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年(2021年)6月

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、本年5月1日現在の状況をご記入ください。
2. この調査は無記名で行い、調査票に記入された内容は統計的に処理し、施設が特定できる公表はいたしません。どうぞありのままをお答えください。
3. 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたの考えに近いものの番号に○印をつけてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合があります。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にできるだけ具体的にご記入ください。
4. 回答については、①調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函いただく方法と②インターネットを利用して「しがネット受付サービス」からダウンロードして回答・提出していただく方法の2通りあります。どちらの方法で回答いただく場合でも6月30日(水)までに、ご投函もしくはしがネット受付サービスで提出くださいますようお願いいたします。

(調査に関する問い合わせ先)

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局 子育て支援室 子育て支援係

電話 077-528-3553

しがネット受付サービスのURLおよびQRコード

https://s-kantan.jp/pref-shiga-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=9866



問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

① 支援の単位数 → () 支援の単位

② 利用定員と登録児童数（令和3年5月1日時点）

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
利用定員	人	人	人	人	人	人	人
登録児童数	人	人	人	人	人	人	人

③ 登録児童数の内訳（令和3年5月1日時点）

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
1年生	人	人	人	人	人	人	人
2年生	人	人	人	人	人	人	人
3年生	人	人	人	人	人	人	人
4年生	人	人	人	人	人	人	人
5年生	人	人	人	人	人	人	人
6年生	人	人	人	人	人	人	人
合計	人	人	人	人	人	人	人

④ 1日当たりの平均利用者数（児童の数）

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
平均利用者数	人	人	人	人	人	人	人

※令和2年度の「毎日利用する児童の人数（A）に、一時的に利用する児童の平均利用人数（B）を加えた人数」が平均利用者数となります。（子ども・子育て支援交付金の国庫補助を受けている場合は、当該交付金の実績報告等で算出する方法の児童数になります。）

※1人未満の端数が生じた場合は切り上げてください。

⑤ ④で41人以上の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1 放課後児童支援員不足
2 既存施設の構造上、支援単位を分割できない
3 児童の急増
4 空き教室や空き店舗等の新たな施設がない
5 新たに施設整備をする財政余力がない
6 施設整備が追い付いていない
7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している
8 その他 ()

⑥ 利用者が最も多かった日およびその利用者数

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
最も 多かった日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
その日の 利用者数	人	人	人	人	人	人	人

※令和2年度の**最も利用者が多かった日**の「毎日利用する児童の人数(A)に、一時的に利用する児童の平均利用人数(B)を加えた人数」を記入してください。(例：最も多かった日が夏休み中の場合、毎日利用する児童の人数に、一時的に利用する児童の平均利用人数および夏休みのみ利用する児童の加えた人数)

※1人未満の端数が生じた場合は切り上げてください。

⑦ ⑥で41人以上の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1 放課後児童支援員不足
2 既存施設の構造上、分割できない
3 児童の急増
4 空き教室や空き店舗等の新たな施設がない
5 新たに施設整備をする財政余力がない
6 施設整備が追い付いていない
7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している
8 その他 ()

⑧ 長期休暇中の1支援単位の利用者数

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
夏休み	人	人	人	人	人	人	人
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
冬休み	人	人	人	人	人	人	人
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
春休み	人	人	人	人	人	人	人

※令和2年度の長期休暇中の「毎日利用する児童の人数(A)に、一時的に利用する児童の平均利用人数を加えた人数(B)」を記入してください。(子ども・子育て支援交付金の国庫補助を受けている場合は、当該交付金の実績報告等で算出する方法の、長期休暇中における児童数になります。)

※春休みは令和3年3月の春休みの人数を記入してください。

※1人未満の端数が生じた場合は切り上げてください。

問3 障害児から入所申し込みがあった場合、受け入れをしますか。(○はひとつ)

1 受け入れる → 問4へ	2 受け入れない → 問3-1へ
---------------	------------------

問3-1 障害児を受け入れない理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1 既存の放課後児童支援員等に専門的な知識をもった者がいない 2 専門的な知識をもった放課後児童支援員等を募集しているが応募がない 3 看護師等の確保ができない 4 施設の構造上、受け入れられない 5 受け入れるつもりがない 6 その他 ()

問4 施設の面積等について、おうかがいします。

① 放課後児童クラブ全体の面積

	支援単位 1	支援単位 2	支援単位 3	支援単位 4	支援単位 5	支援単位 6	事務室、 トイレ等	合計
現況	m ²							

※支援単位の欄には、設備運営基準第9条に規定する「専用区画」（遊び及び生活の場としての機能並びに静養するための機能を備えた部屋または間仕切り等で区切られたスペース）の面積を記入してください。

※「事務室、トイレ等」の欄は施設の共用部分を記入してください。

※小数点第2位まで記入してください。（小数点第3位は四捨五入してください。）

② 児童1人当たりの専用区画面積

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
現況	m ²						

※問4①で算出した専用区画面積を問2④で算出した人数で除して計算してください。

※小数点第2位まで記入してください。（小数点第3位は四捨五入してください。）

③ 児童1人当たりの専用区画面積の理想

理想	m ²
----	----------------

※設備運営基準で児童1人あたりおおむね1.65 m²以上の専用区画面積を確保することとされていますが、理想とする児童1人当たりの専用区画面積を記入してください。

※小数点第2位まで記入してください。

④ ②で1.65 m²未満の支援単位がある場合、その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

1 放課後児童支援員不足 2 既存施設の構造上、分割できない 3 児童の急増 4 空き教室や空き店舗等の新たな設備がない 5 新たに施設整備をする財政余力がない 6 施設整備が追い付いていない 7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している 8 そもそも分割については検討したことがない 9 その他 ()
--

⑤ 長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積

	支援単位 1	支援単位 2	支援単位 3	支援単位 4	支援単位 5	支援単位 6	合計
現況	m ²						

※事務室やトイレ等は専用区画面積に含めないでください。

※小数点第 2 位まで記入してください。(小数点第 3 位は四捨五入してください。)

⑥ ⑤で 1.65 m²未満の支援単位がある場合、その理由をお知らせください。(○はいくつでも)

1 放課後児童支援員不足 2 既存施設の構造上、分割できない 3 児童の急増 4 空き教室や空き店舗等の新たな設備がない 5 新たに施設整備をする財政余力がない 6 施設整備が追い付いていない 7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している 8 そもそも分割については検討したことがない 9 その他 ()
--

貴施設の職員についておうかがいします。

問5 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

			支援 単位 1	支援 単位 2	支援 単位 3	支援 単位 4	支援 単位 5	支援 単位 6	合計
放課後児 童支援員	正規	常勤	名	名	名	名	名	名	名
		非常勤	名	名	名	名	名	名	名
	非正規	常勤	名	名	名	名	名	名	名
		非常勤	名	名	名	名	名	名	名
補助員	正規	常勤	名	名	名	名	名	名	名
		非常勤	名	名	名	名	名	名	名
	非正規	常勤	名	名	名	名	名	名	名
		非常勤	名	名	名	名	名	名	名
事務員	正規	常勤	/	/	/	/	/	/	名
		非常勤	/	/	/	/	/	/	名
	非正規	常勤	/	/	/	/	/	/	名
		非常勤	/	/	/	/	/	/	名

※常勤＝原則として、各施設で定めた勤務時間（所定労働時間）のすべてを勤務する者。

また、1日6時間以上かつ月20日以上勤務する者は、上記にかかわらず「常勤職員」としてください。

※正規＝雇用期間の定めがない勤務の者。

問6 放課後児童支援員等の配置状況について、おうかがいします。

① 放課後児童支援員の配置状況

	支援単位 1	支援単位 2	支援単位 3	支援単位 4	支援単位 5	支援単位 6	合計
現状	名	名	名	名	名	名	名
理想	名	名	名	名	名	名	名

② ①で2名以上配置できていない支援単位がある場合、その理由をお答えください。

(〇はいくつでも)

1 放課後児童支援員不足	2 採用してもすぐに退職する
3 市町の条例で認められているため	4 求人に応募がない
5 その他 ()	

③ 補助員の配置状況

	支援単位 1	支援単位 2	支援単位 3	支援単位 4	支援単位 5	支援単位 6	合計
現状	名	名	名	名	名	名	名

④ 事務員の配置状況（施設全体で） → 現状 () 名

問7 1つの支援単位に携わる放課後児童支援員の体制はどのようになっていますか。(〇はひとつ)

1 開所時間中、特定の放課後児童支援員が専任となっている（学級担任のようなもの） → 問8へ
2 開所時間中、特定の放課後児童支援員が専任となっていない → 問7-1へ

※専任＝開所時間中、少なくとも一人の支援員が子どもの健全育成に常に携わっていることをいう。

問7-1 放課後児童支援員が専任となっていない理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

1 短時間勤務の放課後児童支援員しか雇用できない
2 施設の方針としてローテーション勤務としている
3 その他 ()

問8 正規職員(常勤)の放課後児童支援員の週当たりの平均的な(時間外労働含む)実労働時間は何時間ですか。(〇はひとつ)

1 週20時間未満	2 週20時間～30時間未満
3 週30時間～40時間未満	4 週40時間～50時間未満
5 週50時間以上	

※以下、問9から問11までは、今後、放課後児童クラブにお勤めの方の労働条件の向上を図るための基礎データとして活用させていただくものです。趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。
記入にあたっては、下記の注意書きを参照してください。

- 注) 年齢と勤続年数は平均値をご記入ください。
平均年齢は小数点以下第2位を四捨五入してご記入ください。
- 注) 勤続年数は、貴施設を運営する法人等における勤続年数とします。
公立公営の場合、当該自治体における放課後児童クラブの問9では放課後児童支援員として、問10では補助員として、問11では事務員としての勤務経験年数をお答えください。
- 注) 新任は貴施設における給与表で、問9ではこれまで放課後児童支援員としての経験がなく、初めて放課後児童支援員として勤務する場合、問10ではこれまで補助員としての経験がなく、初めて補助員として勤務する場合、問11ではこれまで事務員としての経験がなく、初めて事務員として勤務する場合の年間額を、おおよその金額をご記入ください。
- 注) 給与等は賞与等を含む昨年の給与支給総額をご記入ください。
なお、社会保険料、所得税等の控除前の額になります。

問9 貴施設における放課後児童支援員の現況について、該当する数字をご記入ください。

① 放課後児童支援員（常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任 放課後児童支援員	/		万円
放課後児童支援員	. 歳	年 か月	万円

② 放課後児童支援員（非常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任 放課後児童支援員	/		万円
放課後児童支援員	. 歳	年 か月	万円

問 10 貴施設における補助員の現況について、該当する数字をご記入ください。

① 補助員（常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任補助員	/		万円
補助員	. 歳	年 か月	万円

② 補助員（非常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任補助員	/		万円
補助員	. 歳	年 か月	万円

問 11 貴施設における事務員の現況について、該当する数字をご記入ください。

① 事務員（常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任事務員	/		万円
事務員	. 歳	年 か月	万円

② 事務員（非常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任事務員	/		万円
事務員	. 歳	年 か月	万円

問12 職員の資質を向上させるために①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことをそれぞれお答えください。(それぞれ〇はいくつでも)

① 現在取り組んでいること

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 研修の実施 | |
| 2 先進的な取組をしている他施設への見学 | |
| 3 休憩時間や休日取得しやすい、働きやすい環境づくり | |
| 4 職員間の信頼関係づくり、良好な人間関係づくり | |
| 5 給与や処遇改善による優秀な人材の確保 | |
| 6 正規職員の増加 | |
| 7 リーダーの養成 | |
| 8 相談窓口の設置 | |
| 9 その他 () | |
| 10 特にない | |

② 今後取り組みたいこと

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 研修の実施 | |
| 2 先進的な取組をしている他施設への見学 | |
| 3 休憩時間や休日取得しやすい、働きやすい環境づくり | |
| 4 職員間の信頼関係づくり、良好な人間関係づくり | |
| 5 給与や処遇改善による優秀な人材の確保 | |
| 6 正規職員の増加 | |
| 7 リーダーの養成 | |
| 8 相談窓口の設置 | |
| 9 その他 () | |
| 10 特にない | |

問13 問12①で「10 特にない」と回答された方におうかがいします。

現在、職員の資質向上の取り組みをできていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 業務が忙しくて時間がない | |
| 2 人手不足 | |
| 3 指導や研修ができる人材がいない | |
| 4 労働条件の改善が難しい(給与、有給取得等) | |
| 5 何をすればいいかわからない | |
| 6 研修参加時の代替職員が確保できない | |
| 7 その他 () | |

情報通信技術（ICT）の活用についておうかがいします。

問 14 業務の簡略化、負担軽減のため、情報通信技術(ICT)の導入を望まれますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 導入したい → 問17へ | 2 導入したくない → 問18へ |
| 3 どちらともいえない → 問18へ | 4 すでに導入している → 問15へ |

問15 問14で「4 すでに導入している」と回答した方におうかがいします。

導入して、どのような効果があったか、お答えください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 手書きでの書類作成が削減できた |
| 2 紙媒体の管理が少なくなった |
| 3 計算業務が自動化できた |
| 4 事務の簡素化により、時間外勤務が減った |
| 5 情報管理のフォーマットが一律になり見やすくなった |
| 6 職員同士の情報共有がしやすくなった |
| 7 保護者との情報共有がしやすくなった |
| 8 職員の勤労意欲（モチベーション）が向上した |
| 9 放課後児童クラブの質の向上させるための工夫を職員が考える時間が増えた |
| 10 職員間の情報の一元管理により業務ミスが減少した |
| 11 その他（) |
| 12 特に効果はない |

問 16 パソコン等の情報通信技術(ICT)を使用して、すでに作業している事務をお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 財務会計（集金）管理 | 2 職員会議記録の作成 |
| 3 行事計画の作成 | 4 配布物の作成 |
| 5 子どもの健康管理票の作成 | 6 活動計画・記録の作成 |
| 7 子どもの入退出管理 | 8 職員の勤務状況管理 |
| 9 給与計算 | 10 保護者への一斉配信メール |
| 11 施設のホームページ作成 | 12 その他（) |

問 17 パソコン等の情報通信技術(ICT)を使用して、今後作業したい事務をお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 財務会計（集金）管理 | 2 職員会議記録の作成 |
| 3 行事計画の作成 | 4 配布物の作成 |
| 5 子どもの健康管理票の作成 | 6 活動計画・記録の作成 |
| 7 子どもの入退出管理 | 8 職員の勤務状況管理 |
| 9 給与計算 | 10 保護者への一斉配信メール |
| 11 施設のホームページ作成 | 12 その他（) |

職員定着に向けた取り組みについておうかがいします。

問18 貴施設の過去3年間の放課後児童支援員等の数をご記入ください。(各年5月1日時点のもの)

			平成30年	令和元年	令和2年
放課後児童支援員	正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名
	非正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名
補助員	正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名
	非正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名

問19 貴施設で過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等(定年退職除く)がいる場合、その人数をご記入ください。

			平成30年	令和元年	令和2年
放課後児童支援員	正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名
	非正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名
補助員	正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名
	非正規	常勤	名	名	名
		非常勤	名	名	名

問20 問19の過去3年間の退職者(定年退職者除く)について、勤務年数別の実人数をご記入ください。

	平成30年	令和元年	令和2年
1年未満	名	名	名
1年～3年	名	名	名
3年～5年	名	名	名
5年～7年	名	名	名
7年～10年	名	名	名
10年～15年	名	名	名
15年～20年	名	名	名
20年以上	名	名	名
合 計	名	名	名

問21 貴施設で、職員の職場定着のために①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことをお答えください。(〇はいくつでも)

①現在取り組んでいること

1 給与水準の引き上げ	2 給与体系の構築
3 労働時間の短縮	4 休暇を取得しやすい環境整備
5 職員の子育て支援体制の充実	6 キャリアアップの仕組みの構築
7 施設外研修受講環境の改善	8 施設内研修内容の充実
9 作成書類の軽減、事務作業の効率化、ICT化	10 福利厚生 of 充実
11 メンタルヘルス対策	12 パワハラ、セクハラ防止策の充実
13 研修・休暇取得時の代替職員の確保	14 相談窓口の充実
15 職場の和やかな雰囲気づくり	16 職員間のミーティングの充実
17 クレーム対応体制の整備	18 その他 ()
19 特になし	

②今後取り組みたいこと

1 給与水準の引き上げ	2 給与体系の構築
3 労働時間の短縮	4 休暇を取得しやすい環境整備
5 職員の子育て支援体制の充実	6 キャリアアップの仕組みの構築
7 施設外研修受講環境の改善	8 施設内研修内容の充実
9 作成書類の軽減、事務作業の効率化、ICT化	10 福利厚生の充実
11 メンタルヘルス対策	12 パワハラ、セクハラ防止策の充実
13 研修・休暇取得時の代替職員の確保	14 相談窓口の充実
15 職場の和やかな雰囲気づくり	16 職員間のミーティングの充実
17 クレーム対応体制の整備	18 その他 ()
19 特になし	

問 22 貴施設において、職員を安定的に雇用していくために望む公的支援はなんですか。(〇はいくつでも)

1 職員の給与改善に関する公的支援の充実
2 非正規から正規への雇用を安定的に継続する取組
3 正規と非正規の均衡(均等)処遇の促進
4 社会保険・雇用保険の事業主負担の軽減
5 人材バンクの創設
6 保育・介護サービスなどの福祉制度の充実
7 教育・研修制度の充実
8 相談支援体制の充実
9 放課後児童クラブに勤務する人々の社会的評価を高める取組
10 加配職員雇用のための支援の充実
11 その他 ()

職員の採用状況についておうかがいします。

問23 令和2年度の採用状況について、該当する欄に数字をご記入ください。

			採用予定数	採用数
支援員	正規	常勤	名	名
		非常勤	名	名
	非正規	常勤	名	名
		非常勤	名	名
補助員	正規	常勤	名	名
		非常勤	名	名
	非正規	常勤	名	名
		非常勤	名	名
事務員	正規	常勤	名	名
		非常勤	名	名
	非正規	常勤	名	名
		非常勤	名	名

問24 令和2年度の採用において、募集に対し応募がなかった、または、募集より応募が少なかった形態は何ですか。(〇はいくつでも)

1 正規 (常勤)	2 正規 (非常勤)
3 非正規 (常勤)	4 非正規 (非常勤)

問25 採用するにあたり、どのようなスタッフを求めていますか。(〇は3つまで)

1 常勤
2 遅番ができるスタッフ
3 正規職員の休暇・休業代替スタッフ
4 正規職員の研修参加時の代替スタッフ
5 加配職員
6 職員の事務作業時間を確保するためのスタッフ
7 非常勤スタッフ
8 長期休暇期間中に勤務できるスタッフ
9 その他 ()

問 26 採用に至らない方、あるいは、採用するには心配な方は、どんな方ですか。(〇は3つまで)

1	放課後児童支援員として基本的な実務経験のない方
2	熟練した実務経験のない方
3	施設管理経験のない方
4	配慮が必要な児童に対する経験のない方
5	放課後児童支援員として幅広い知識・実技能力のない方
6	最近の子育て事情をご存じない方
7	パソコンの基本的な操作ができない方
8	社会性・一般常識のない方
9	コミュニケーション能力のない方
10	その他 ()

問 27 実施している求人手続きについて、おうかがいします。

①求人手続きの手段 (〇はいくつでも)

1	ハローワーク	2	求人広告 (媒体名:)
3	自施設・自社の HP 等	4	人材派遣・紹介会社に依頼
5	就職説明会	6	友人・知人の紹介
7	退職した職員への情報提供	8	その他 ()

②求人手続きの効果 (〇ひとつ)

1	高い	2	やや高い
3	やや低い	4	低い

問 28 現在、職員の採用に困難を感じますか。「1 はい」の場合は、その理由もご記入ください。(〇はひとつ)

1	はい	-----▶	その理由
2	いいえ		

処遇改善等の実施状況についておうかがいします。

問 29 放課後児童支援員等処遇改善事業を活用されていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 満額活用している → 問32へ | 2 一部活用している → 問30へ |
| 3 活用していない → 問31へ | |

<参考>令和2年度国・県補助基準額

(1) 家庭、学校等との連絡及び情報交換等の育成支援に従事する職員を配置する場合
1,677,000円

(2) (1)の「家庭、学校等との連絡及び情報交換等」に加え、地域との連携・協力等の育成支援に従事する常勤職員を配置する場合

3,158,000円

問 30 問 29 で「2 一部活用している」を選ばれた方におうかがいします。処遇改善事業を満額活用されていない理由をお答えください。(「2 事務負担が大きいため」、「3 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため | |
| 2 事務負担が大きいため (具体的に : |) |
| 3 その他 (|) |

→次は問 32 へお進みください。

問 31 問 29 で「3 活用していない」を選ばれた方におうかがいします。処遇改善事業を活用されていない理由をお答えください。(「5 事務負担が大きいため」、「7 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 平日の開所時間が18時30分を超えていない | |
| 2 休日の開所時間が8時間未満である | |
| 3 年間開所日数が250日未満である | |
| 4 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため | |
| 5 事務負担が大きいため (具体的に : |) |
| 6 規程等の整備ができていない | |
| 7 その他 (|) |

問 32 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を活用されていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 満額活用している → 問35へ | 2 一部活用している → 問33へ |
| 3 活用していない → 問34へ | |

<参考>令和2年度国・県補助基準額

- (1) 放課後児童支援員を配置 129,000 円
- (2) 一定の研修を受講した概ね経験年数5年以上の放課後児童支援員を配置 258,000 円
- (3) (2)の条件を満たす概ね経験年数10年以上の事業所長的立場にある放課後児童支援員を配置 388,000 円

問 33 問 32 で「2 一部活用している」を選ばれた方におうかがいします。キャリアアップ処遇改善事業を満額活用されていない理由をお答えください。(「2 事務負担が大きいため」、「3 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため | |
| 2 事務負担が大きいため (具体的に : |) |
| 3 その他 (|) |

→次は問 35 へお進みください。

問 34 問 32 で「3 活用していない」を選ばれた方におうかがいします。キャリアアップ処遇改善事業を活用されていない理由をお答えください。(「2 事務負担が大きいため」、「4 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため | |
| 2 事務負担が大きいため (具体的に : |) |
| 3 規程等の整備ができていない | |
| 4 経験年数等に応じた定期昇給等の仕組みの導入に努めていない | |
| 5 その他 (|) |

問35 運営上の課題に感じていることがあれば、ご記入ください。



問36 最後に、行政に対するご意見・ご提案などがございましたら、ご自由にご記入ください。



ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れご返送ください。